

令和4年度当初予算（案）

主要施策 参考資料

津 島 市

当初予算の概要（定例会分）

予算規模 一般会計 212億8千万円

主な事業（別添参考資料を参照）

事業名	事業費	資料番号
津島市DXをさらに推進していきます	9,652万1千円	1
教育のデジタル化を推進します	【再掲】9,252万1千円	2
教育の国際化を推進します	2,923万円	3
木材で作られたロッカーや玩具を通して子どもたちに木のぬくもりを伝えます	760万1千円	4
自助・共助についての防災訓練や防災教育等を実施し、地域防災力向上を図ります	654万5千円	5
津島の地場産品の魅力を全国へ発信します ～広告を活用したふるさと納税返礼品のPR～	231万円	6

事業名	事業費	資料番号
マイナンバーカードの取得促進に向け申請をサポートします	1, 209万9千円	7
津島市へ進出する企業を支援します	7, 676万2千円	8
津島市内で新築住宅を取得する方を支援します	49万2千円	9
新型コロナウイルスワクチン接種の小児(5歳以上11歳以下)への接種・追加接種(3回目接種)等を引き続き実施します	1億9, 922万円	10
予防接種の推進や多胎妊婦への支援により市民の健康を守ります	1億2, 933万5千円	11

津島市DXをさらに推進していきます

令和4年2月17日（木）

とりまとめ

津島市総務部総務デジタル課（辻村、崎本）

電話番号 0567-55-9609（ダイヤルイン）

予算額 9,652万1千円

ますます加速する社会全体のデジタル化に対応するため、民間人材を活用しながら、津島市DX（デジタルトランスフォーメーション）をさらに推進していきます。

○ デジタル専門人材確保事業（総務デジタル課） 400万円

国の地方創生人材支援制度を活用し、今年度より派遣を受けている情報通信技術（ICT）に精通した民間人材について、令和4年度も引き続き派遣を受け、国が進める自治体情報システムの標準化や行政手続のオンライン化など、行政のデジタル化を更に推進し、市民サービスの向上を図ります。

DX(デジタルトランスフォーメーション)

ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。



○ GIGAスクール構想推進事業（学校教育課） 9,252万1千円

全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現し、全ての子どもたちの学びを保障するため、GIGAスクール構想で導入した一人一台タブレットをより一層活用できるようにタブレットドリルソフトの導入やICT支援員の配置など、学校教育のICT環境の更なる充実を図ります。



教育のデジタル化を推進します

令和4年2月17日（木）

津島市教育委員会学校教育課（水野、木谷）

電話番号 0567-55-9417（ダイヤルイン）

予算額 9, 252万1千円【再掲】

全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びを実現し、全ての子どもたちの学びを保障するため、市内全12小中学校において「GIGAスクール構想」の実現を前提とした新しい時代の学びを支える学校教育のICT環境をさらに充実します。

○ タブレットドリルソフト導入事業【新規】

728万1千円

ICTを活用した学びを充実させ、小中学生がタブレットをより一層活用できるようにドリルソフトを導入します。



○ ICT支援員設置事業 1,056万円

ICTによる学びを充実させるため、市独自で、その技術や活用に知見を有するICT支援員を配備し、ICTを活用した授業等を教師がスムーズに行えるようにサポートします。

○ GIGAスクール構想機器整備等事業

7,400万7千円

GIGAスクール構想により配備されるICT端末の活用を推進するため、校務支援ソフトやインターネット接続機器の整備等を実施することにより、安心して小中学生がタブレットを利用できるように学習環境を整えます。

○ 授業目的公衆送信補償金 67万3千円

授業を目的としてサーバー等に教材等を保存して利活用するために、著作権者の許諾不要でインターネット等で送信できるようにすることにより、授業で著作物を利用したICTを活用した学習を円滑に実施することが可能になります。

教育の国際化を推進します

令和4年2月17日（木）

津島市教育委員会学校教育課（水野、木谷）

電話番号 0567-55-9417（ダイヤルイン）

予算額 2,923万円

グローバル化や情報化など、多様化が一層進む社会にあって、子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力や多様な個性を伸ばし、国際人として成長し、国際社会のなかで貢献できるように教育の国際化を推進します。

JETプログラム事業

市内の小中学校の外国語教育の充実のため、JETプログラムを活用した外国語指導助手（ALT）を市内全12小中学校に6人配置します。



外国語授業風景（令和3年5月 市内中学校）



外国語授業風景（令和3年5月 市内小学校）

JETプログラムについて

外国語教育の充実と地域レベルの国際交流の進展を目的に、総務省、外務省、および文部科学省の協力のもと実施している語学指導等を行う外国青年招致事業をいいます。（The Japan Exchange and Teaching Programme）

木材で作られたロッカーや玩具を通して 子どもたちに木のぬくもりを伝えます

令和4年2月17日（木）
とりまとめ
津島市健康福祉部子育て支援課（佐藤、藤倉）
電話番号 0567-24-1120（ダイヤルイン）

予算額 760万1千円

森林環境譲与税を活用して、保育施設や小学校等に木製製品を配備することにより、子どもたちが木のぬくもりや柔らかさといった木材の特性を知り、森林の大切さや木材に対する理解を深めてもらい、子どもの育成環境の向上を図り、豊かな子育てを実現します。

保育施設・小学校等木製製品充実化事業（子育て支援課・学校教育課）

公立の保育所・認定こども園・子育て支援センターに整理棚等を整備します。
また、神守小学校にはロッカーを整備します。

○ 整備内容

- ・共存園保育所：整理棚、絵本棚、フックスタンド、玩具
- ・新開こども園：整理棚、絵本棚、フックスタンド、玩具
- ・子育て支援センター：いす
- ・神守小学校：ロッカー

参考

森林環境譲与税（令和元年創設）譲与額
令和元年度 239万4千円
令和2年度 508万8千円
令和3年度 508万8千円（見込）
令和4年度 660万円（当初予算額）



自助・共助についての防災訓練や防災教育等を実施し、地域防災力向上を図ります

令和4年2月17日（木）
とりまとめ
津島市市長公室危機管理課（磯部、越宮）
電話番号 0567-55-9594（ダイヤルイン）

予算額 654万5千円

コロナ禍において災害が発生したことを想定した避難所運営訓練を実施し、地域の防災力の向上を図ります。また、災害用の備蓄品及び備蓄資機材をローリングストックし、避難所等に配備します。

さらに、市内全12小中学校では、「家庭防災の日」にあわせて、朝の会や帰りの会の学級指導において、ポスターや防災情報カードを活用した防災学習を行い、災害に備え日頃から家族で話し合える環境を整えます。併せて、小中学生を対象に防災に関する講演会を実施します。

○ 防災訓練関連事業（危機管理課） 350万6千円

各自主防災組織への助成をはじめとし、小学校・地域・市が協働して、避難用テントなどの設営をはじめとする防災訓練を実施します。

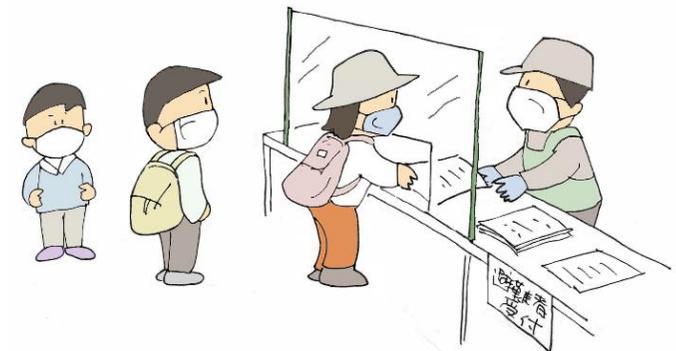
- ・地域防災組織育成事業助成金 200万円
- ・自主防災組織育成補助金 64万円
- ・訓練会場設営委託料 59万2千円 ほか

○ 資機材備蓄事業（危機管理課） 300万円

災害用のマスク等の感染症対策資機材のほか、令和4年度から生理用品や紙おむつ等もローリングストックを実施し、有効活用していきます。

○ 防災教育事業（学校教育課） 3万9千円

市内の防災訓練を実施する時期に、小中学校において、防災教育に携わる大学と連携し、大学教授等を講師に招き、小中学生を対象に防災に関する講演会を実施します。



津島の地場産品の魅力を全国へ発信します

～広告を活用したふるさと納税返礼品のPR～

令和4年2月17日（木）
津島市市長公室シティプロモーション課(前田、三輪)
電話番号 0567-55-9589（ダイヤルイン）

予算額 231万円

ウェブサイトや各種媒体における広告を活用して、津島の地場産品の魅力を広く発信します。
多くの方が本市の返礼品に関心を持ち、寄附をしていただくことにより、地場産業の活性化を図ります。

ふるさと納税返礼品PR事業

ふるさと納税ポータルサイトや大都市圏をターゲットとしたウェブサイト広告等を活用し、津島のふるさと納税返礼品を閲覧する機会を大きく増やすことで、全国のふるさと納税に興味のある方へ積極的にPRします。

参考

- 津島市のふるさと納税返礼品（令和4年2月1日現在）
 - ・羽毛布団（令和3年4月1日より受付開始）
 - ・オーダースーツお仕立券
 - ・ポータブル発電機
 - ・フルーツトマト
 - ・お米（あいちのかおり）
 - ・乾燥麴
 - ・レトルト米飯 ほか

〔返礼品数：計 132 品〕



マイナンバーカードの取得促進に向け 申請をサポートします

令和4年2月17日（木）

津島市市民生活部市民課（宇佐美、荻野）

電話番号 0567-24-1112（ダイヤルイン）

予算額 1, 209万9千円

令和4年度末までに、ほぼ全ての国民がマイナンバーカードを保有するという国の方針のもと、今まで以上にマイナンバーカードの取得を促進するため、マイナンバーカードの申請をサポートします。

○ マイナンバーカード出張申請受付事業【新規】 1,205万7千円

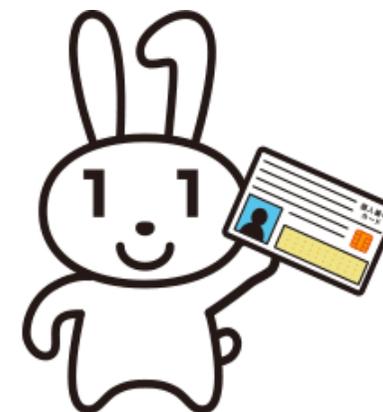
津島市民病院や公共施設、商業施設に特別ブースを設置し、マイナンバーカード出張申請受付（申請時来庁方式）業務を実施します。

<申請から受取までの流れ（例）>

- ・通知カードと本人確認書類（運転免許証等）を持参し、必ず本人が特別ブースで申請する。
- ・受付時に写真撮影、暗証番号を記入し、本人確認書類で本人確認を実施する。
- ・後日、本人限定受取郵便で自宅にマイナンバーカードが届く。

○ マイナンバーカード写真サービス事業 4万2千円

市役所市民課と上記出張申請受付の特別ブースにおいてマイナンバーカードを申請する際に必要な写真を撮影します。（写真の持参は不要になります。）



・申請時来庁方式

マイナンバーカードを申請する際に本人確認等を実施し、後日、本人限定受取郵便でマイナンバーカードを受け取る方式。

・一般的な申請方式（交付時来庁方式）

マイナンバーカードをご自身で郵送・スマートフォン・自宅のパソコン等から申請し、後日、市役所へ来庁する際に本人確認等をしてマイナンバーカードを受け取る方式。

津島市へ進出する企業を支援します

令和4年2月17日（木）

津島市建設産業部産業振興課（中嶋、原田）

電話番号 0567-55-9347（ダイヤルイン）

予算額 7,676万2千円

津島市は、平成28年度より補助金制度を設け、ワンストップ体制で企業誘致を積極的に進めています。これまで市が指定した3つの区域（宇治、白浜、鹿伏兎）の合計約21haの有効面積約18.5haのうち、約11.7ha（誘致率63%）において製造業14社を誘致し、そのうち9社が既に操業開始しています。また、この他にも製造業2社が許可手続き中です。

企業誘致補助金

都市計画法第34条第12号に基づき指定した区域等への企業進出を促進するための優遇策として以下の補助金を交付します。令和4年度は、9社分を予定しています。

・インフラ整備補助金 4,350万円

工場等の新增設に必要な道路、水路等の工事費の一部を補助します。

令和4年度は、5社分を予定しています。

・企業立地促進補助金 3,326万2千円

市が指定した区域等に進出した企業が納付した固定資産税相当額の一部を3年間補助します。

令和4年度は、4社分を予定しています。



津島市内で新築住宅を取得する方を 支援します

令和4年2月17日（木）

津島市建設産業部都市計画課(角田、松尾)

電話番号 0567-55-9627(ダイヤルイン)

予算額 49万2千円【新規】

当市の地区計画区域内で新築住宅を取得する方を対象に、固定資産税相当額等を補助することで、津島市への定住を促進します。

まちなか定住促進事業補助金

まちなか定住促進補助金事業は、神守町及び唐臼町の地区計画区域内で住宅を取得した50歳未満の方を対象に、3か年分の固定資産税相当額を補助します。

また、子育て世代や長期優良住宅には、それぞれ10万円を加算します。

<令和4年度対象>

令和3年度に認定した2件

<今後の見通し>

制度周知により、現在も地区計画区域内での住宅建築件数が増加しており、令和5年度は20件程度の補助を見込んでいます。



新型コロナウイルスワクチン接種の 小児(5歳以上11歳以下)への接種・ 追加接種(3回目接種)等を引き続き実施します

令和4年2月17日(木)
津島市健康福祉部健康推進課
新型コロナウイルスワクチン接種推進室(安藤、加藤)
電話番号 0567-22-5255(ダイヤルイン)

予算額 1億9,922万円

小児(5歳以上11歳以下)への接種、追加接種(18歳以上の2回目接種を完了した方のうち、6か月以上経過した方)を引き続き実施します。また、1・2回目未接種の方への接種も継続して行います。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

<小児への接種概要>

令和4年3月より接種開始予定

- ・個別接種(接種開始時点による)

小児科専門医療機関を中心に、市内の4医療機関で接種(小児用ファイザーのみ)

<追加接種概要>

対象:令和4年3月までに2回目の接種が完了している方

医療従事者等:令和3年12月開始、その他の市民:令和4年1月開始

- ・個別接種(令和4年2月15日現在による)

市内の33医療機関で接種(ファイザーのみ15医療機関、ファイザー及びモデルナ18医療機関)

- ・集団接種(モデルナを予定)

必要に応じて実施

<実施期間(追加接種、小児、1・2回目)>

令和4年9月30日まで



<主な予算内訳>

- ・ワクチン接種委託料 1億3,994万8千円
- ・コールセンター等事務委託料 1,481万8千円
- ・ワクチン管理等委託料 1,000万5千円

予防接種の推進や多胎妊婦への支援により 市民の健康を守ります

令和4年2月17日（木）
津島市健康福祉部健康推進課（棚橋、上野）
電話番号 0567-23-1551

予算額 1億2,933万5千円

感染症の感染予防や重症化予防を図るため、予防接種を推進することで市民の健康を守ります。
また、多胎妊婦への健康診査受診費用を支援することで、安心して出産できる環境を整えます。

○ 子宮頸がんワクチン接種事業【拡充】

1億1,465万円

子宮頸がん予防のため、積極的勧奨を行います。

対象者は、従来の12歳から16歳になる女子に加え、接種機会を逃した17歳から25歳になる女性へも拡大します。



○ 高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業【拡充】

517万1千円

肺炎球菌感染症の予防のため、定期接種として65歳から5歳刻みの年齢で100歳まで高齢者肺炎球菌ワクチン接種を実施しています。

また、令和4年度から新たに、定期接種における対象年齢でのワクチン接種ができなかった方に対して任意接種を開始します。

○ 風しん予防接種追加的対策事業 938万9千円

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性の方は、過去に公的に予防接種が行われておらず抗体保有率が低くなっているため、抗体検査を実施し、抗体価の少ない方には予防接種を実施します。

○ 多胎妊婦健康診査費受診負担金【新規】

12万5千円

多胎児を妊娠した妊婦さんに安心して出産していただくため、妊婦健康診査費用の一部を支援します。

<内容>

- ・1回につき、上限5,000円分
(1人あたり5回まで)

